

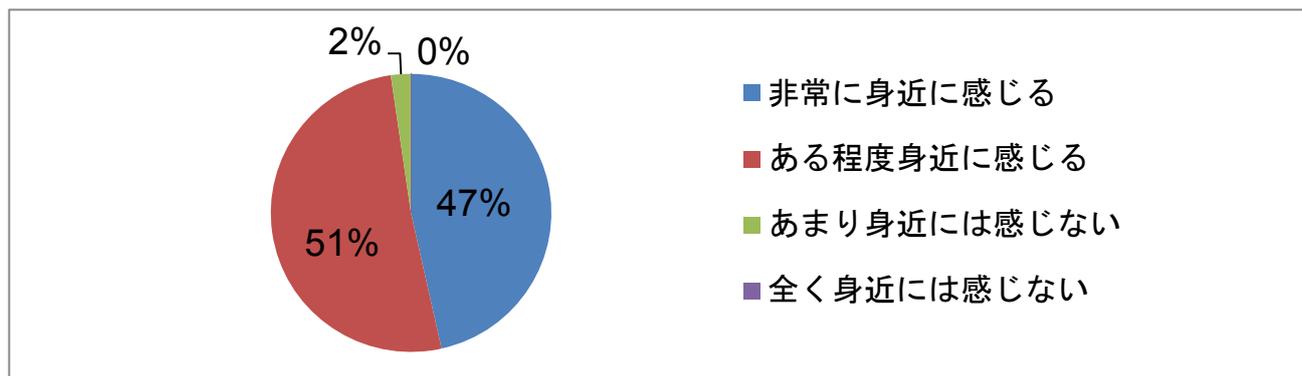
# 平成 30 年度第 2 回国有林モニターアンケート（集計結果）

実施日：平成 30 年 11 月 30 日 回答期限：平成 30 年 12 月 21 日 回答者数：43 人

※自由記述は、回答の一部又は全部を抜粋・整理したものを掲載しています。

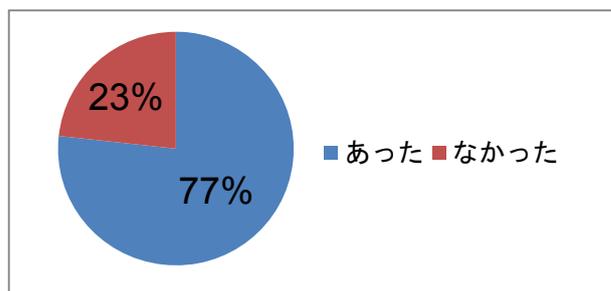
## 1 国有林について

問 1 国有林モニターになってから、「国有林」を身近に感じるようになりましたか。



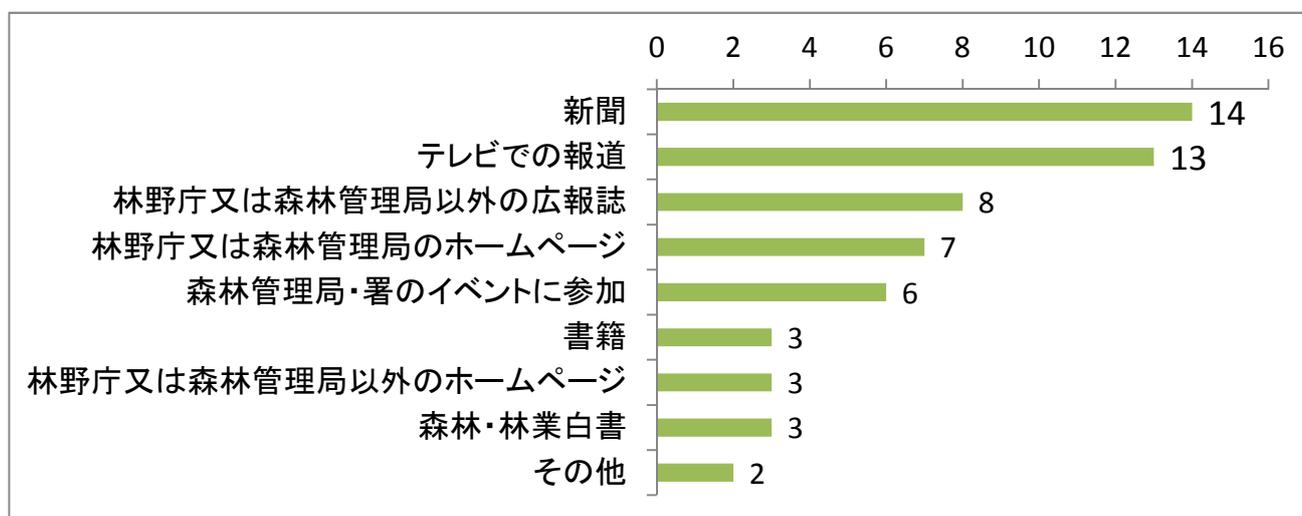
問 2 毎月の配付資料以外で、国有林についての情報を得る機会がございましたか。

回答数 43 人



問 1 で「あった」と回答された方にお聞きしました。

問 2-1 国有林についてどのような方法で情報を得ましたか。（複数回答可）



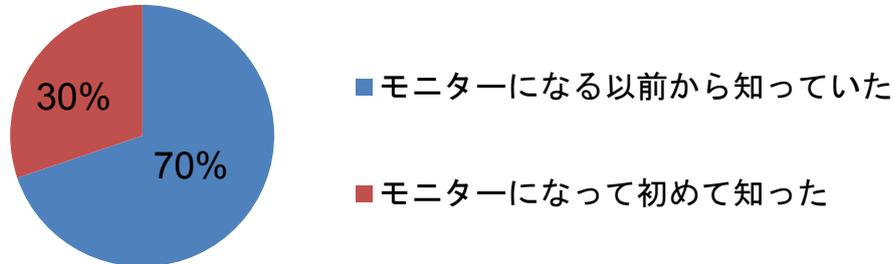
### 問3 国有林について、現在どのようなイメージを持っておられますか。

#### 回答（一部抜粋・整理）

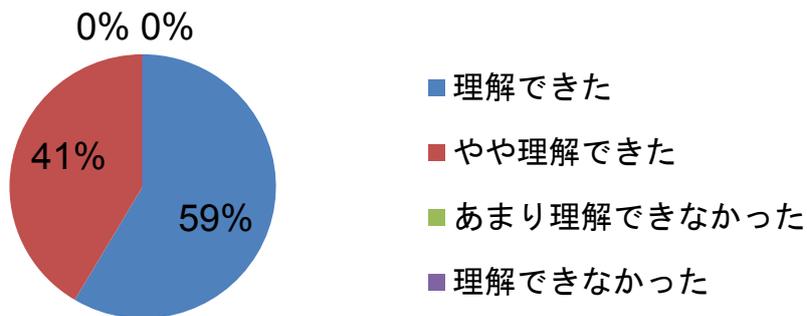
- ・身近な国民の森林・林業を支え、守っているというイメージです。
- ・きちんと手入れや管理がされているイメージがあります。
- ・国の財産であり、国土の保全としても大切な資源と考えている。
- ・自然や私たちの生活を守るために大切なもの。
- ・林産材の安定供給、豊かな自然環境の保全等、大切な役割を担っている。
- ・人が生きていくためになくてはならないものの一つ。安全・安心のために必要にもの。様々な取組で国有林を守っている。
- ・災害の未然防止、自然環境の維持・向上、私達国民の自然に親しむ社会教育等々に最も重要な必要不可欠な存在。
- ・林野庁（農林水産省）が、民有林も含めた日本の国土（森林等全般）についての将来展望を見据えた上で計画的に森林行政に携わっている姿が印象に残りました。
- ・国内の森林をリードする施策の実施。国民に情報提供したりして理解を得る役割を担っている。
- ・何が行われているかわからず触れられもしないブラックボックスのような存在から、身近で共働できる存在へと変わった。
- ・モニターする前と今とは随分イメージに変化あり。日本という国を継続するには、政治ばかりではなく、国有林等の大切さが身近に感じられました。私たちの生活には一番大切なのではと思うようになりました。
- ・二酸化炭素排出問題もからめた環境保全のための重要な役割を担っている事の再認識と合わせて、いまや収穫時期を迎えている我が国森林資源の積極的な活用策として、輸出産業の一翼を担えるところまで来ている現実に驚いています。
- ・森林の整備・保全がどのように行われているか余り分からなかったが現地を見学して、林業の資源の循環などが大変だと思いました。最近ではシカや動物による被害が多くなってきて、一層大変になってきていると思いました。
- ・海岸沿いでの通勤があり、松林による防風林のイメージが強いです。大きい役割を果たしているのに、地域との密着性が薄いような感じが得られ、子供達の植林なども学校の行事的なイメージがある。
- ・規制があつてどういう状態か等の情報がない。
- ・目立たない、地味で普段一般人からあまり関心を持たれていないイメージを持ちます。
- ・身近にあるが、一般に認知されていない。
- ・日本の国土を護り、震災等の再生にとって非常に重要なもの。で、あるにも関わらず、国民全体にその認識が薄いことに危機感があります。
- ・自然保護、災害防止、温暖化対策などなど求められるものが大きくなってきていると思う。
- ・生物多様性の観点から、なるべく元の広葉樹中心の森に転換を図るべきじゃないでしょうか。

## 2 シカによる森林被害とその対策について

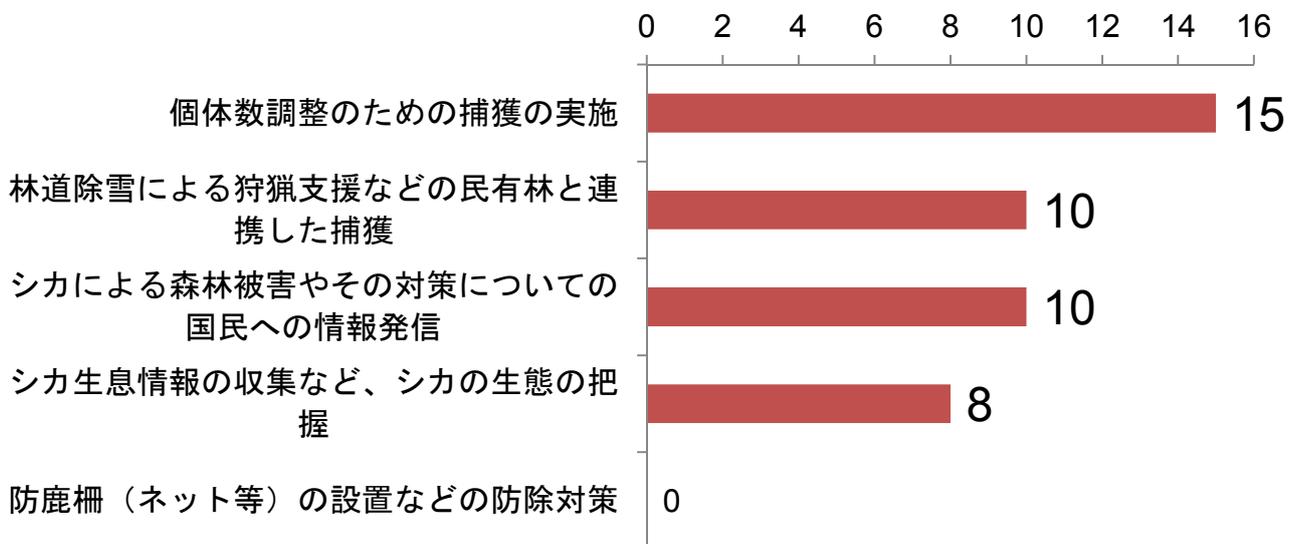
問1 シカによる森林被害を知っていましたか。



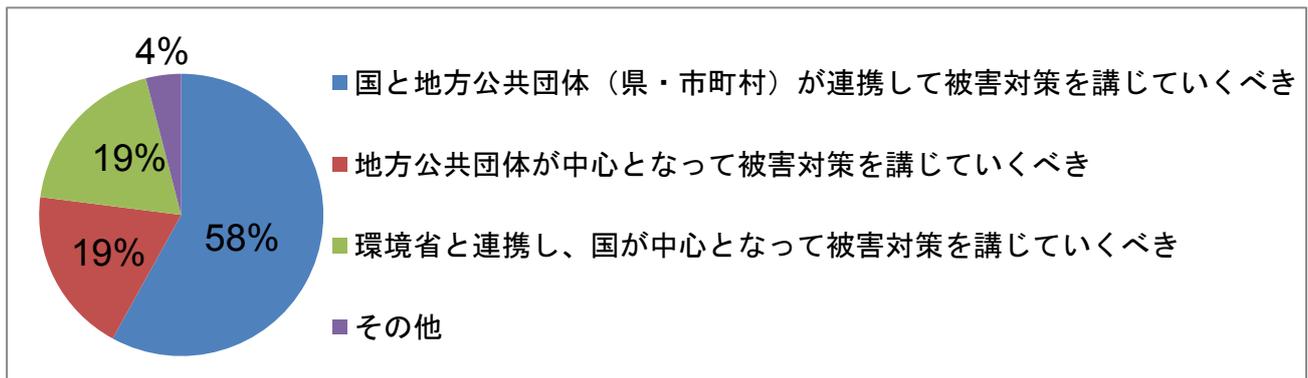
問2 シカによる森林被害への対策の必要性について、第2回現地見学会の開催や配付資料を通じてご理解いただけましたか。



問3 東北地域でシカによる森林被害への対策をするにあたり、重要だと考える項目を教えてください。



問4 現在、別紙のとおり様々な主体がシカによる被害への対策に取り組んでいますが、今後対策をどのようにすべきと考えますか。



（その他の回答）

- ・国や地方公共団体も含め、民間企業や NPO、大学教授等の専門家など、様々なところからの連携が必要では。
- ・国、地方の他に民にも参加が必要なのは。

鳥獣被害対策に関わる省庁やお問い合わせについて

別紙

野生鳥獣は農林水産業だけでなく、生活環境や生態系など、多方面に様々な影響を及ぼしています。また、野生鳥獣の種類も多様であり、生息数や生息地域、加害の程度等も様々であることから、効果的な被害対策を講じるために、対策に関わる制度・予算を所管する複数の省庁が連携して対応しています。

**農林水産省では・・・**

- 農林水産物への被害防止のために、市町村が中心となった地域ぐるみで行う罠の設置や追払い活動、捕獲活動に対して支援を行っています。
- また、被害対策だけでなく、捕獲した鳥獣を食肉などに有効利用する取り組み（処理加工施設の整備など）についても支援を行っています。

**環境省では・・・**

- 鳥獣保護管理法に基づき、野生鳥獣の保護・管理や狩猟の適正化を推進しており、鳥獣を捕獲等する事業者の認定制度等を実施しています。
- また、都道府県が行う指定管理鳥獣（ニホンシカとイノシシ）の捕獲事業に対して支援を行っています。

**関係省庁が連携して鳥獣被害対策を実施**

**警察庁では・・・**  
銃刀法に基づく銃所持許可手続について、利便性向上の取組を実施

**文化庁では・・・**  
天然記念物に指定されている動物による食害への対策を実施

**総務省では・・・**  
狩猟税、地方交付税措置、鳥獣捕獲で利用される無線機の適正利用の推進等

**厚生労働省では・・・**  
食品衛生法に基づく野生鳥獣肉の衛生規制を所管

**経済産業省では・・・**  
追い払いに使用する火薬類や電気網等の安全確保の指導

**防衛省では・・・**  
侵入防止柵の設置などに係る自衛隊の協力

鳥獣被害対策に関する支援の内容や制度の概要などに関して、お問い合わせ先が分からない場合は、農林水産省（農村振興局 農村環境課鳥獣対策室 直通電話番号03-6744-7642）までお気軽にお問い合わせください。

問5 シカによる森林被害への対策について、ご感想・ご意見等がございましたらご記入ください。

回答（一部抜粋・整理）

- ・森林被害の現状、将来的な危惧などの情報を、国・各自治体双方から連携して発信し、自然環境の維持に向けたシカ個体数調整実施が必要不可欠であり、計画的な必要対策として進めることを、広く国民の理解を得る必要があると考えます。
- ・シカに限らず、我々の身近にいる動物（カラス、猫等）も含め、動物の被害対策はいたちごっこのような状態になることが多いと感じた。狩猟者を確保し、狩猟できる期間を延ばす等の対策が必要なのではと思う。今後のシカ被害対策を行う上でも、シカの生態についての研究は続けて欲しいと思う。
- ・対策が受身になっているように感じました。環境保全も含めた視点を示し合意形成を図りつつ積極的な取組の必要を感じます。
- ・シカの個体数を減らし、低密度化を図ると同時に、これ以上シカが増えない環境を作っていくことが大事だと思う。

- ・シカは増えていることは間違いなし被害が増加していることも事実です。もっと個体数調整のための捕獲を強化すべきと思います。
  - ・狩猟をする人口が増えればいいが、狩猟の免許を取るにあたってハードルが高いように思う。動物の命を奪うものだから当然ではあるが雪の多い地方だと狩りだけで生計が立てられないのも、狩猟人口が増えない一因であると考える。
  - ・ネット等の設置は部分的には効果があると思うが、経費・労力を考えると無理と思うので、生息個体数等の調整が効果があるよう思います。
- 
- ・シカに限ることではないが、被害があるから殺せと短絡的な考えがまかり通っている。数を減らす前に生息数を調べる、野生動物のエサ場を減らさないこと。森林環境の保護、里山の整備など野生動物と共存する方法を実施していくことが重要。
  - ・同封別紙の資料のように省庁の壁を壊して情報の共有や提供を行って欲しい。見学会でシカの繁殖スピードに驚いた。国土や暮らしが危機的状況にあることを周知し、国民一人一人が当事者として何が出来るかを知らせて欲しい。
- 
- ・食害や樹皮はぎの現状を被害として公表し国内での理解を醸成させることが大事と考えます。
  - ・東北地方で野生動物被害といえば熊が多く、シカは暖かい地域の被害で東北地方の被害は少ないと考えている方が多いように思われます。金華山のシカを敬う気持ちや熊に比べ人を襲わない・メディアで扱う少なさも、シカに対する知識情報が偏っていたり、少ないようにも感じます。まずは被害の実態や予防策など正しく周知されることが第一ではないでしょうか。
  - ・地方公共団体が中心になると限定されてしまうので、国が方針を決めそれに沿った対策が重要ではと思います。被害の深刻さは、情報発信されている人だけしか伝わらないのでは？そのためにも国が中心となり、地域住民へまで伝わるような対応が必要ではと考えます。
- 
- ・シカ被害の捕獲等にも資金が多く使うものだなあということがわかりました。何らかの方法を考えなければと。
  - ・多様な省庁が対策に関する法や規制を所管されておられるので、連携して対策を実施していく調整が難しそうだと感じました。
  - ・まだ身近に出没情報を耳にしていないが、被害が出てからでは遅いのでしっかりとした対策をしてほしい。
  - ・実際に対策の現場を見せてもらい、興味がより高まった。私も近くの山に行ったときにカモシカと遭遇、ビックリしたことを思い出した。
  - ・秋田県では熊の生態、被害はよく聞くが「シカ」と言われると正直ピンとこない。岩手県でシカの森林被害があること、びっくりしています。

### 3 林業の低コスト化について

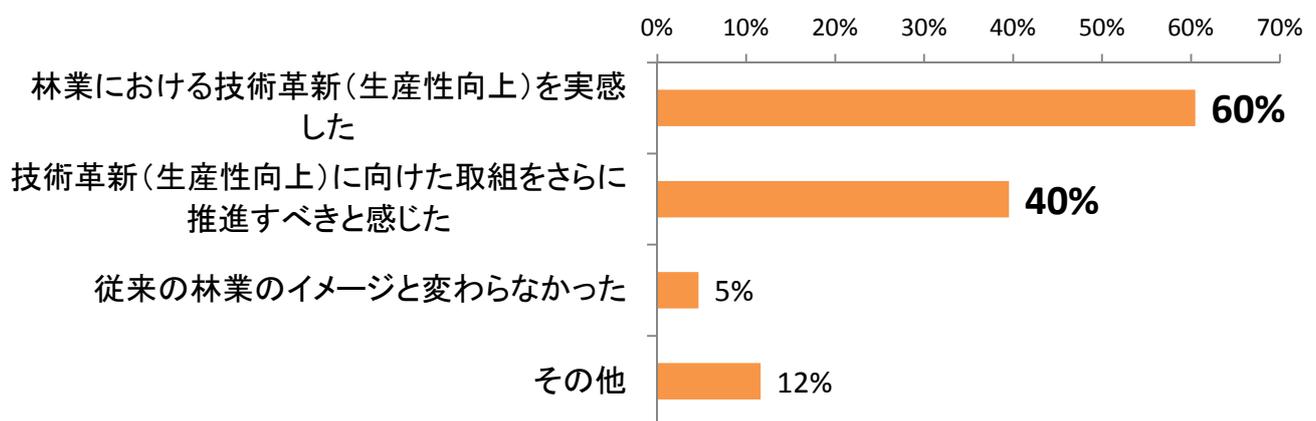
問1 コンテナ苗を活用した伐採と造林の一貫作業システムの取組の必要性について、現地検討会の開催や配付資料を通じてご理解いただけましたか。



理解できなかった点（一部抜粋・整理）

- ・コストの点が気になります。
- ・どのような結果に繋がっていくのか、将来は？のイメージがまだわからない
- ・造林の方は理解できたが伐採の方が、時間や日数の感覚がつかめず、効率があまりピンとこなかった。
- ・一貫作業システムは発注者側にとっては良いと思うが受注者にとってはメリットがあるのだろうか。

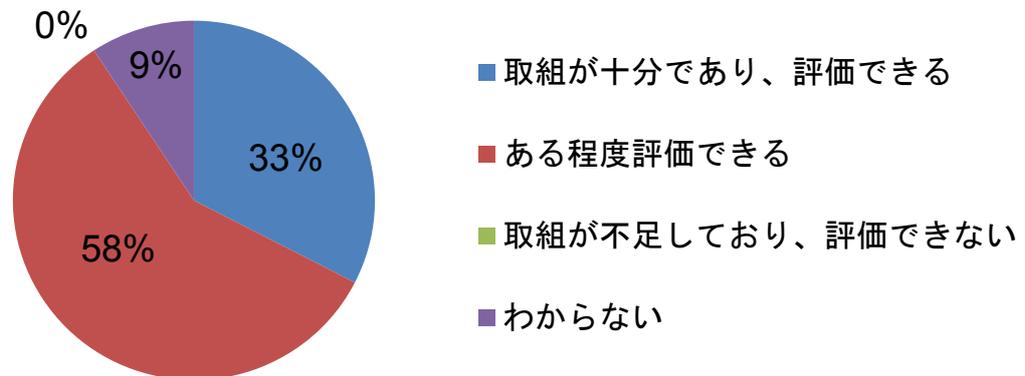
問2 コンテナ苗を活用した伐採と造林の一貫作業システムの取組について、現地検討会の開催や配付資料を通じてどのように感じましたか。（複数回答可）



（その他の回答）

- ・コンテナ苗は効率的で良いと思いましたが、高機能の林業機械（高額機械）を使った一貫作業システムは、平地では良いと思うが、日本のような急峻な山林が多い国土では効率が上がらない地域が多いのではないかと思った。
- ・高性能林業機械をそろえるのが経費的に大変だろうと思った。揃えた後の事業の受注はどうなるのか、安定的に出来るのだろうか。

問3 東北森林管理局における林業の低コスト化に向けた取組について、該当するもの番号を回答ください。



問4 コンテナ苗を活用した一貫作業システムの取組について、ご感想・ご意見等がございましたらご記入ください。

回答（一部抜粋・整理）

- ・コンテナ苗については、実際体験してみて、林業作業の負担軽減につながると感じたので、今後も積極的に推進していいと思います。
- ・効率的なシステムだと思うので、コンテナ苗がもう少し安くなり、林業関係者へ広がっていくと良いと思う。
- ・いろんな樹種に拡大し、安価で普及したらいいと思います。
- ・コンテナ苗の利用率・充足率はわかりませんが、再生林に十分対応できるように、各県との連携を強め、民有林への活用を図るべく対策が欲しい。
- ・一貫システムの取組は、植林作業からの取組なので、山に対しては良い取組と思うが、一方で作業を受注する業者は機械を揃える必要があります。多分高額だとも思います。揃えた後に業者は安定した業務量がなければ続けていくことが出来ないようなことになると思います。業務の確保を国は保証することが出来るのでしょうか。
- ・日本の山林では高機能の林業機械が入って作業できる地域が限られているのではないのでしょうか。もし、この政策を進めるとしたら作業道の整備がもっと必要になるのではないのでしょうか。従来からのチェーンソー等による伐倒の必要な山林もあると思うので、それらの山林についての作業環境についても整備していく必要性もあるのではないのでしょうか。
- ・現状はメリットばかりでなくデメリットもあるようなのでさらなる技術革新が必要だと思います。
- ・システムの開発や試験などの取組は素晴らしいと思った。持続可能な森林・林業のためにがんばってください。そして国民に還元して下さい。小さな山主、林業家にも役立つ技術・情報も発信して下さい。
- ・作業がしやすくなっていくだろうと思いました。でも苗は弱々しく見えたのですが。

- ・初心者や女性でも参加でき、将来とても有効なシステムと感じた。人手不足による省力化又は低コスト化に向けての要望は国家・地方自治体財政からも、また労働環境改善の見地による民間企業からも歓迎されるものであると思いました。
- ・初めての体験でコンテナ苗の植樹をさせていただき、すごく感動しました。植える場所に運ぶにしても、本数を数えるときでも、やりやすくなったように感じました。植え付けするときも以前のやり方より、楽になったように実感しました。植樹後をもみても、とてもきれいでスマートに見えて気持ちよく思いました。全般的に工程がきれいに見えました。シャベルよりもディンプル使用は女性の力でも可能で開発者に脱帽でした。
- ・植樹に際して、このような細やかな技術開発に取り組まれていることを初めて知り驚きました。山の作業は大変と思うので少しでも負担が軽減されるとよいですね。日本の技術すごいです。
- ・過去にも植林体験があったが、今回コンテナ苗の植林体験をし、作業効率の点で評価できると思いました。将来的な森林経営の官民連携による効率化によって、日本の森林産業が発展できる素地はあると感じたところです。
- ・作業効率も向上して、中小林家が里山作りなどに取り組める環境を期待しています。
- ・コンテナ苗の植え付けの体験は思いのほかコツと力が必要で楽しい時間になりました。一般の方々にもこうした体験が楽しむことが出来たら注目されると思いました。
- ・今までどんなやり方でそれがどれだけ省力化になっているのかがよくわからなかった。やっぱり、実際の急峻な山中での植林を体験してみてもないと実感が湧かない。
- ・今回見学会に参加させていただいたコンテナ苗、一貫作業システムが林業に携わる方々へ広く浸透していければ、人と野生動物の共存できる里山なども実現可能と感じております。  
(最新機能のマシン：感動でした)
- ・先人がどれだけ大変な植付けをしていたのかと思いをはせた。少ない人数、時間で効率的な対策だと思った。丁度先日の新聞で我が町の子供達がコンテナ苗の植付けを行っていた。コンテナ苗も温泉ハウスで育てているようだった。温泉の活用もできればコスト減にプラスになるのだろうか。
- ・一貫作業システム事業概要の冊子4・5ページのようなイラスト説明を用いて下さると超初心者の私にも見易く、素晴らしいアイデアだと感心しました。
- ・実際に見学・体験させてもらうことにより、これまで以上に興味が深まった
- ・林業に携わったことが全く無かったため、ザウルスロボ等を見学しまして最新のなブルがあることにびっくりしました。これからもいろいろと教えていただけましたら非常に勉強になります。
- ・森林と身近に関係を持つために、苗植え作業などは小・中学校の生徒にも体験してもらいたいと感じました。
- ・コンテナ苗の植え付けの体験は思いのほかコツと力が必要で楽しい時間になりました。一般の方々にもこうした体験が楽しむことが出来たら注目されると思いました。実際に見学・体験させてもらうことにより、これまで以上に興味が深まった。

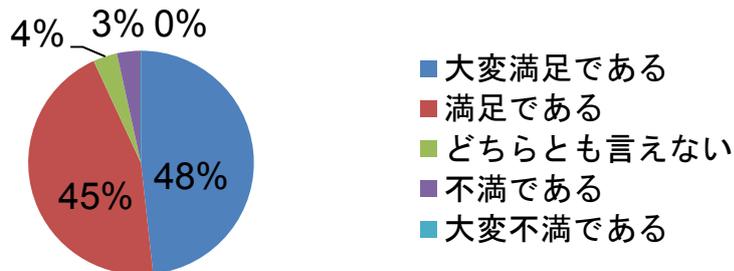
## 4 現地見学会について

10月16日（火）に盛岡森林管理署管内国有林において開催（平成30年度第2回）

参加者31名、うち回答者29名

※不参加者は、問3のみ回答（不参加者17名、うち回答者14名）

問1 現地見学会全体の満足度について回答ください。差し支えなければ理由もお聞かせください。



### 理由

#### （大満足である）

- ・新幹線の出口から職員の皆さまが立っていて下さったお陰で迷うことなくバス乗り場まで向かうことができ、ホッとしました。また北上川上流国有林の冊子（盛岡森林管理署のパンフレット）も見易く、超初心者の私もじっくり熟読したくなる内容の濃く、良く考えられた読み物でした。欲を言えば3ページの目次部分が見え難かったことが残念でした。
- ・よく理解できた。テーマが良かった。
- ・現地で実際作業している人や機械、普段はととても接する事が出来ないが作業している人の努力に感心しました。
- ・時間もちょうどいい。見るだけでなく、体験もできてよかった。
- ・天気も良かったし、集合場所もわかりやすい。
- ・過酷な現場で命をかけて働いている皆さんに感動しました。
- ・なかなか見れない伐採作業を目の前で見れて迫力があって良かった。コンテナ苗を実際に植樹できる体験も良かった。
- ・説明を聞いて、視て、触れて感じ、自分で体験できて理解が深まりました。

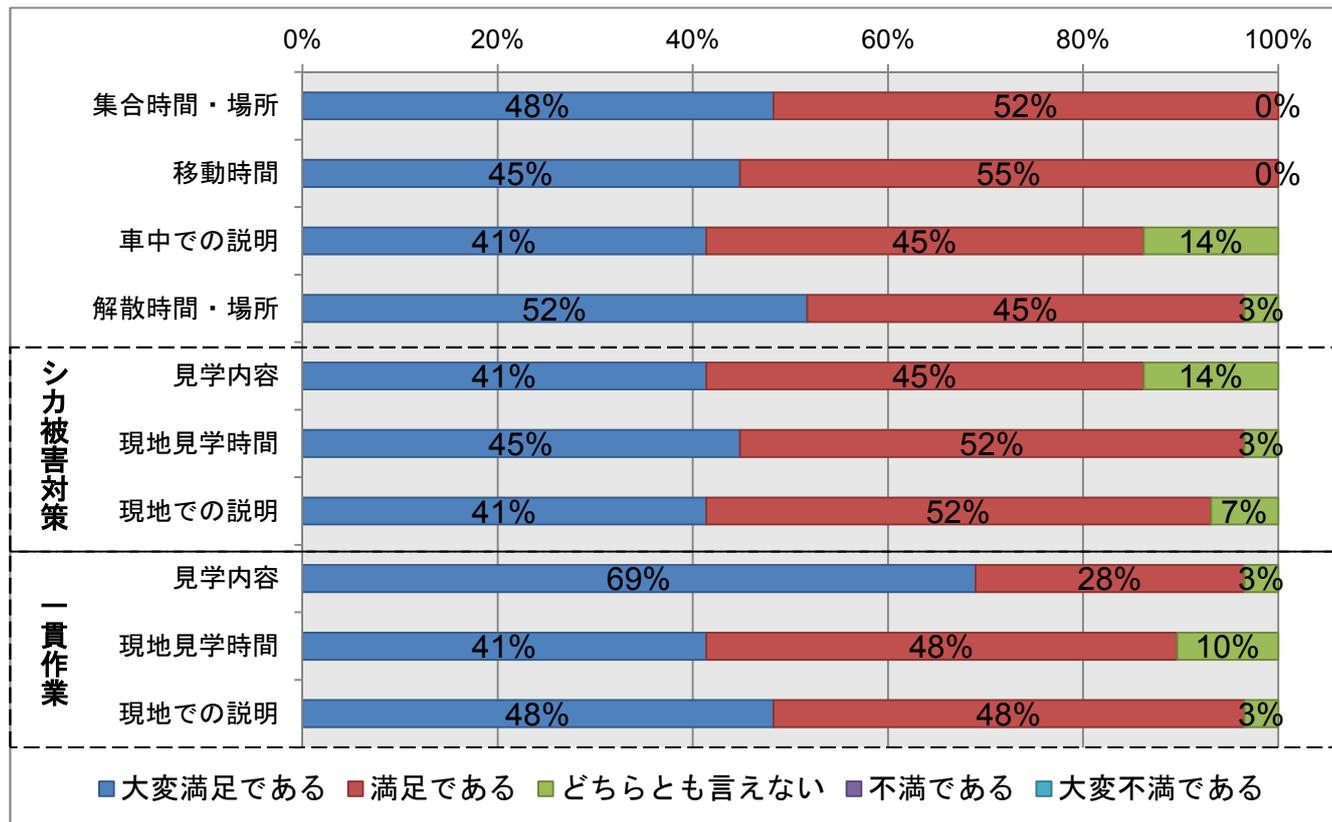
#### （満足である）

- ・取組の様子を実際に見て、体験することができたから。
- ・日程及び見学内容も適切で説明等もわかりやすかった。
- ・植林が思い出になった。
- ・現在実施している業務を見ることが出来た。

#### （不満である）

- ・時間が短すぎる。うわべだけしか見てないような気がする。

問2 当日の見学行程の満足度について、それぞれ該当する番号を回答ください。



[集合時間・場所]

- ・職員の方々が誘導して下さったので迷いませんでした。
- ・無理なく集合できる時刻設定だった。場所も分かりやすかった。
- ・盛岡駅集合にすることで迷うことなく皆さん時間通りに集合できたので良かった。
- ・やはり遠くからの移動を考えると10時半以降の集合がベストだと思う。

[移動時間]

- ・高速道路を使い、時間短縮をしていただきありがたい。
- ・集合時刻・場所との関係で適当と思う。
- ・少々時間がかかりましたがどれも内容が良かったです。
- ・バスの移動時間があまり長くなく疲れなかった。

[車中での説明]

- ・親切だった。
- ・なかなか聞き取れない部分もあった。

[解散時間・場所]

- ・新幹線の時間が無く待ち時間が多かった。
- ・ちょうど新幹線に間に合って良かった。
- ・10月くらいになると日の入りも早く寒さも厳しくなるので4時くらいの解散で良かった。

## 【見学① シカ被害対策箇所】

### 【見学内容】

- ・見学して説明を頂いたことでより実情と理解が深まりました。
- ・防御ネット対策など実物を見るだけでもすごくためになった。
- ・対策のもどかしさを感じました。
- ・あとで説明を思い出しながら資料を読むことができた。
- ・想像していたよりは、小規模でした。
- ・具体的に取り組んでいる現状を見ることが出来たが、特に現地に立つ意味は感じられなかった。
- ・実際に被害が起きた現場を見られればもっと良かったと思う。
- ・おもしろみがない。
- ・せっかくのラミネートシートをゆっくり見ることができず残念でした。

### 【現地見学時間】

- ・ちょうど良い時間配分でした。

### 【現地での説明】

- ・1時間くらいの説明があったのでいろいろと質疑応答が飛び交い有意義であった。
- ・雪国ならではの柵の破損など興味深いお話しでした。
- ・分かりやすかった。
- ・もう少し聞こえるように、声を大にして欲しかった。

## 【見学② 一貫作業システムの見学とコンテナ苗の植付け作業体験】

### 【見学内容】

- ・実際に伐採する様子（の見学）やコンテナ苗の植樹を行ってみて技術の進歩を感じた。
- ・伐採と植付を同時にやっていることを確認できて良かった
- ・迫力なる伐倒や高性能林業機械を間近に見ることができて感激しました。植え付け体験もあり盛りだくさんでした。
- ・大型の最新重機を見れて感激した。
- ・出来れば実際の山中の作業現場を見てみたい。

### 【現地見学時間】

- ・ちょうどいいと思った。
- ・もうちょっと伐採作業のところを詳しく見たかった。
- ・寒かったので少し長く感じたのかもしれませんが。

### 【現地での説明】

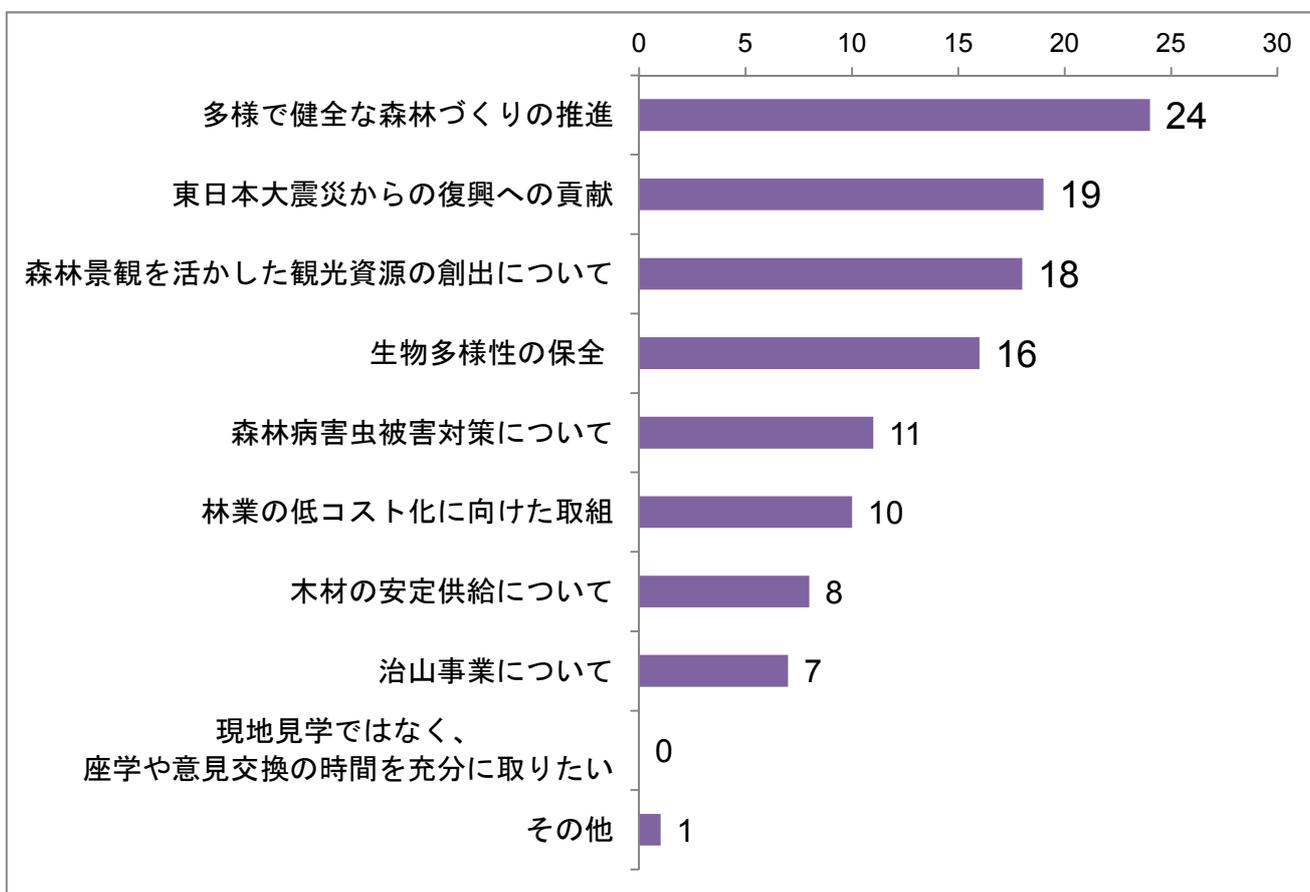
- ・職員の方と笑いながら植樹体験をすることで親しみがもてて良かった。
- ・説明が具体的で上手でした。

問3 現地見学会についてご意見・ご感想等がございましたらご記入ください。

- ・現場で作業に携わる方の安全対策も含めて、一連の森林産業活性化への取組とその努力精進の姿に感動致しました。特に機械による一貫作業を拝見し、今後の我が国林業の可能性を実感することができました。
- ・HP や本で見ただけではわからない、またプロフェッショナルの説明で理解が深まったので有意義でした。
- ・業者が作業しているところを中断して見学や体験をさせていただき恐縮でしたが、良い機会でした。ありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。こういう機会を頂いて良かったと思っております。友達に話しています。モニターになる前は全くとっていいほど解りませんでした。やはり自然は大切に守っていかなければなりません。
- ・時間が許せたら、別の現地を見学したいと思いました。森林一本を見てもその地域によってそれぞれの特徴があることがわかり、植樹体験をさせていただき、すごく嬉しかったです。
- ・一貫作業システムの時、伐倒するところを見れて感動しました。方向の確認、確実にその方向に倒していく技術が素晴らしかったです。
- ・ジビエを食するなど出来れば面白かった。
- ・シカによる森林被害対策については、森林を守らなければならないし、むやみにシカの命も奪えない難しさ・費用がかかることなどを、ご説明や対策を見学して肌で感じました。
- ・鹿だけでなく猪・熊・猿の被害も増えているようだが、里山と国有林の関係について、今後の方向性を知りたい。
- ・1回目の現地見学場所から昼食場所に移動する前にトイレタイムを設けてもらえればと思いました。
- ・今回初めて現地見学会に参加させていただいたのですが、気持ちよく見学できすごく良かったです。次回も都合が合えば是非参加したいです。
- ・集合場所の案内とても丁寧でわかりやすかった。説明がわかりやすい。長靴等の準備ありがとうございました。スムーズです。スタッフが大変だと思うので片付けなどは指示してもらえれば各自が指定の車や場所に持っていけるとと思います。今後も日程を早めに知らせてもらえると調整しやすい。
- ・実際に報告を受けるのと、現場で見るのでは、大きな違いがあると思われれます。問題点や実情だけでなく、町でみることができない、こんな虫や植物を見つけたなど個人的な興味の意見もあっていいのではと思います。
- ・観光ではないものの知らない土地のことなので一口メモ的に教えていただけるとより一層、興味が湧くように感じました。
- ・一つの事案についてじっくり探求することも必要なのでは。
- ・一泊二日で深く掘り下げた内容でもよいと思う。
- ・休日等にも開催して欲しい。
- ・現地見学会の内容も含めたアンケートであれば、先月末の内に配布して欲しかった。
- ・今回の見学会に参加できなくてとても残念でした。次回、楽しみにしています。

## 5 今後の国有林モニター活動について

問1 来年度の見学会において、見学したい内容について最大3つまで選択してください。



### その他の回答

- ・路網整備の推進が課題と言われている中、どのような取組が行われているかについて。

問2 毎月の配布資料について、ご意見・ご要望等がございましたらご記入ください。

### 回答（一部抜粋・整理）

- ・コンパクトかつ詳細に書かれており、重宝しております。
- ・みどりの東北176号、白神山地が紹介され、印象深かった。いつもよく見えています。
- ・実情と現地見学に行かれた方の意見を知ることができる情報であり、地域公共施設、学校へも今回のコンテナ苗による低コスト化など、文章ではなく漫画等でわかりやすい書面は配布したりするのは良いのではと考えます。
- ・配布資料でわからない言葉があってもホームページを見ると解決します。とてもわかりやすいホームページがあるので配布資料内でももっとPRをしても良いと思います。
- ・今まで自分が知らなかった、森林環境のことが少しずつわかるようになってきて毎月楽しみにしています。
- ・資料が多すぎる。

- ・資料について全てに感じるのは「専門性」のこと。資料の読み手の大部分が専門的な方なので当然でしょうが、せめてモニターで行った先で読む資料は「読みたくなる仕掛け」があると嬉しいです（今回でしたらキレイな写真や3ページの管内の特色など）また、データが色々ありますが読み取り方が分かりません。例えば管内レク森の面積、数字の羅列のみでなく「これは国内では多い方です」林種別・機能別面積なら「人工林の～は一般的ですが○はかなり少ないです」などひとこと添えてあると理解に繋がるのではないのでしょうか。

問3 平成31年度の現地見学会やモニター会議の開催について、ご意見・ご要望等がございましたらご記入ください。

#### 回答

- ・土日を利用した現地見学会をお願いしたいです。
- ・盆前に現地見学会を開催して欲しい
- ・移動に時間がかかるのは仕方ないと思いますが、できるだけ集合しやすい場所、現地の設定を希望します。
- ・是非秋田県内での現地見学会もお願いします。
- ・来年度は、青森県、宮城県の森林見学会の予定があればいいなと思っています。是非お願い致します。
- ・来年度の計画を立てるのに、見学会等をだいたい何月に予定しているかの日程を早めにお知らせいただきたい。
- ・岩手・宮城内陸地震や東日本大震災等、震災の復旧現場の状況を目で見て確かめたいです。
- ・モニターになることで治山事業や一貫作業システムの作業現場の見学が出来、とても良い経験になりました。来年度、個人的には国産材を活用した建物や加工品の見学ができると良いと思っています。企画の準備等、大変だとは思いますが来年度も楽しみにしています。
- ・戦前からのブナの保護林の見学会を希望。
- ・モニター同士の話し合いには興味があります。
- ・国有林野の現状と課題、そして方向性が私たちにも理解できるように企画・開催を期待します。
- ・見学会に参加して、近くの森や山間の川を見る目が変わりましたし、見方が変わった分、いろいろ考えるようになりました。今年一度しか参加できませんでしたので、次年度は全て参加して見聞を広めたいです。よろしく願いいたします。
- ・現地見学会は見るもの全てが新鮮ですので、日程が合えば今後も参加させていただきます。
- ・これまで、なかなか参加させていただけなかったのですが、来年こそと楽しみにしています。引き続きよろしく願いいたします。

## 6 まとめ

国有林モニターの皆様には、毎月の資料送付や現地見学会の開催（平成 30 年度は 2 回）を通じて、国有林をより身近に感じていただけるようになったことが分かりました。その一方で、依然として「情報がない」、「目立たない」等のご意見もあったことから、国有林モニターの皆様に限らず、広く国民の皆様に「国有林」について知っていただけるよう、広報活動などの情報発信に努めてまいります。

第 2 回現地見学会のテーマとして取り上げた「シカによる森林被害とその対策」及び「林業の低コスト化」については、現地見学会の開催や資料送付を通じて、多くの方にご理解いただきました。今後も様々な主体と連携したシカ被害対策に取り組むとともに、林業の成長産業化のための低コスト技術の実証に率先して取り組んでまいります。

また、今後の国有林モニター活動につきましても、皆様からのご意見等を参考に、より充実した活動となるよう取り組んでまいります。

最後に、今回アンケートに御協力いただきましたモニターの皆様に御礼を申し上げますとともに、寄せられたご意見を踏まえて、国有林野事業をより良くしていけるよう努めてまいります。